



レースの熱気に包まれた関町商店街

いす・1グランプリ2018 第11戦 熊本南関大会

写真の説明

①接戦のレース模様②選手を元気づける応援③賞品の南関米を給食センターに寄付する木津川運輸チーム④歓喜の声を上げる入賞チーム⑤ひまわり幼稚園鼓隊演奏⑥南関中学校「フェイスペイントブース」⑦トッパ丸誕生会⑧町内の園児が制作したドット絵

いす-1GP結果

- 第1位 熊本の中心で事務椅子と叫ぶ…120周
- 第2位 木津川運輸…116周
- 第3位 ヒザ神…100周

トッパ賞

- トッパ 第18位 ビッグオーク…67周
- 酒気帯び走行会ビヨンド…67周

肉グルメGP結果

- 第1位 焼きたてパン工房Montresor
- 第2位 キングゲバブ
- 第3位 からあげ虎一

レース会場周辺では、地元産の新鮮野菜やアクセサリーなどを販売するトッパマルシェと肉グルメGPも開催。町内はじめ、大牟田から出店した飲食店などが自慢の肉料理を提供し、多くの人でにぎわいました。

心配されていた台風も去り、晴天に恵まれた当日は、町内外から35チームが出場。各チームとも自慢のいすを持参して、過酷なレースに挑み、会場は熱気に包まれました。

いす・1グランプリは、今年で連続三年目。1チーム3人で交代しながら、キヤスター付きの事務いすに乗り、商店街に特設された約200メートルのコースの周回数を競う2時間耐久レースです。

いす・1グランプリ南関大会実行委員会（北原浩一郎実行委員長）は、トッパ丸の誕生日（10月8日…トッパの日）を記念して、誕生日に一番近い日曜日である10月7日に、九州では唯一の日本事務椅子協会公認のいす・1グランプリを関町商店街で開催しました。同グランプリは、今年で連続三年目。1チーム3人で交代しながら、キヤスター付きの事務いすに乗り、商店街に特設された約200メートルのコースの周回数を競う2時間耐久レースです。

出場者は急カーブや坂道がある難コースに悪戦苦闘。途中バランスを崩して転倒したり、いすが壊れるというアクシデントもありましたが、観客から温かい声援が送られていました。表彰式では、賞品として上位3チームに南関米が贈呈され、第18位のチームには協賛のкокヨ株

式会社から最新オフィスチェア「ing」が贈られました。北原実行委員長は「難関突破のできる町のイメージと元気な町のアピールのために、さらに面白いイベントに育ってほしいと思います」と語りました。



カヌーに乗れたよ!

関川・諏訪川でカヌー体験

関川・諏訪川流域会議は9月16日、大牟田市の駿馬地区公民館でカヌー体験を開催しました。

大牟田市・荒尾市・南関町の小学生と保護者を対象に30人が参加。実際にカヌーに乗るという経験をし、普段見ることのない関川・諏訪川の水辺の環境を観察しました。この体験は、河川環境保全や生活排水対策の意識高揚を図ることを目的としています。

町内の参加者からは、「関川でカヌーができるとは思わなかった。また参加したい」との声が聞かれました。



▶カヌー体験をしている参加者たち



▶受賞を喜ぶ猿渡さん（左から2番目）

祝100歳 町長が訪問

佐藤町長は9月20日、今年100歳を迎えた猿渡アキエさん（高久野）宅を訪れ、総理大臣からの祝い状と記念品を贈りました。受賞者に普段の過ごし方や長寿の秘訣を聞いてみました。

【普段の過ごし方】

- ・家事全般を行っている。
- ・野菜作りをしている。
- ・毎日、妹さん（94歳）と散歩をしている。
- ・たまにお酒を飲む。
- ・作った野菜を近所の人にプレゼントすることが楽しみ。

【長寿の秘訣】

- ・のんびりせずに働く（動く）こと。・ご飯（米）を食べること。

きらめき 万次郎かぼちゃ JAたまな生産組合設立総会

JAたまな北部集荷センター万次郎かぼちゃ生産組合は、9月26日に設立総会を開催しました。

この組合は、万次郎かぼちゃ生産組合の生産集団化と農協共販を推進し農業近代化を図り、農家経営の基礎を確立し、所得の増大と経営的地位の向上に努め、園芸事業の発展に寄与することを目的としています。

今年度の万次郎かぼちゃの生産農家数は36戸、栽培面積は1,235aであり、出荷数量は90tを計画しています。



▶あいさつをする良田会長



▶ドライバーに啓発グッズを手渡す参加者

交通安全を呼び掛ける 秋の全国交通安全運動

秋の全国交通安全運動期間中の9月27日、町では上長田のふるさとセンター駐車場で交通安全キャンペーンを行い、交通安全協会や交通安全母の会、玉名署員などがドライバーに交通ルールの遵守を呼び掛ける啓発グッズを手渡しました。

秋の全国交通安全運動は、子どもと高齢者の交通事故防止をはじめ、自転車の安全利用の推進、シートベルトとチャイルドシートの着用徹底、飲酒運転の根絶を重点に10日間展開されました。

玉名署によると、町内では8月末現在、24件の交通事故が発生し、負傷者は41人、死者は0人（事故から24時間以内の死者数）です。